

ここがわたしのアナザースカイ

Q1. 研修に参加して良かったと思うことは何ですか？

たくさんの新しい出会いができたことです。研修に参加したメンバーだけでなく、講師のジャッキー先生やゲストレクチャーの講師、PA（プログラムアシスタントであるケンブリッジ大学の学生）そして現地の学生や店員など様々な人との出会いがありました。特に時間を共にすることの多かった先生方やPAとは親交を深めることができ、帰国後も連絡を取るほどです。研修メンバーとは一カ月の共同生活を通して親友と呼べるほどに仲良くなりました。彼らは皆勉強に対して積極的で、語学も堪能でした。そのため、周りのレベルについていくためにモチベーションを落とさず、予習・復習をしっかりとこなすといったことを一番に心がけました。もし彼らがいなければここまで頑張ることはできなかったでしょう。さらに、この出会いのおかげでより相手へ感謝の気持ちを持つことの重要性にも気付きました。一カ月という期間を異国の地で暮らすのは、大きなストレスを伴うものになります。そのような環境下で健康やメンタルを保つことは容易ではありません。しかし、周りとの関係があれば、一か月を楽しんで実のある経験にできます。

Q2. 研修に参加したことで、どんな力がつきましたか？ どんな点が成長したと思いますか？

英語力はもちろんですが、計画力や行動力、発信力といった面でも成長を感じました。やはり、初めの頃は“いったい何を言っているんだ？”と感じることは多かったです。しかし、時間が経つにつれてリスニング能力の向上や、状況への慣れといったことから相手が何を伝えたいのかを理解できるようになってきました。帰りの飛行機ではキャビンアテンダントさんの英語がとても簡単に聞こえるほどになりました。

イギリスでは日本と違って電車やバスをはじめとして多くの場所で時間がルーズです。そのため、時間に余裕をもって行動するだけでなく、計画の変更も重要となってきます。臨機応変に対応しながらも、みっちりスケジュールを入れるので計画力、そしてそれを実践する実行力共に成長したと思います。

英語を使うのはもちろん学校内だけではなく、道を聞くのも、ちょっとした挨拶をするのも英語です。そのため、どれだけ自分の表現幅で言いたいことを言えるのか、ニュアンスを伝えられるのか、色々考えながら会話をします。そのため、言葉、ジェスチャー、表情など多岐に渡る発信力を鍛えられます。

Q3. 研修に参加したことで、今後の学習面と将来のキャリアに関し、どんな気づきがありましたか？

この研修を通して今まで触れることのなかった分野に触れることができました。イギリス法は言わずもがな、国際環境法や国際人権法といった、かなり具体的な分野にも手を伸ばせました。私は特にこの国際環境法に強く惹かれました。ゲストレクチャーの先生に連絡しておすすめの本を買うほどです。ゲストレクチャーの講師は皆その分野のプロフェッショナルであるため、彼らとの接点を持てることは大きなアドバンテージとなります。

将来の選択肢はとても広がりました。私は日本でとにかく就職できればいいかなという考えでした。しかし、研修で出会った人の話を聞いて、海外の大学院や企業、さらにはN G Oといった進路にも目が行くようになりました。進路に関して広い視野を持てるようになったことは大きな収穫です。

Q4. 研修中の一番の思い出は何ですか？

休みの日に国立公園に行けたことです。昔から自然の多い場所をめぐるのが大好きであったため、週末はケンブリッジから離れた場所に旅行へ行きました。イギリスの 14 か所の国立公園のうち 2 つを回ることができました。日本とはまた違った絶景を堪能できたことはとてもいい思い出です。また、景色だけでなく、地域ごとに家の見た目や、町の雰囲気といった特色が違うのも見どころでした。町と自然をどちらも楽しむことで、イギリスを感じることができました。

Q5. 未来の参加者へのメッセージ（次年度以降の参加者に向けて、これだけは伝えたい！と思うことを先輩として、メッセージをお願いします。）

自分の成績が理由で申し込みを迷っているなら、申込書を出すべきです。この研修でとにかく大事なものは英語力や知識ではなく、パッションです。ジャッキー先生やプログラムディレクターのジェームズ先生はポジティブな学生を求めています。勉強が苦手でも先生方や PA がとことん付き合ってくれるので全く問題ないです。この研修はスキルを磨くだけでなく、人脈や価値観の形成にも大変役立ちます。もし少しでも“留学にいきたいな”、“大学生生活に刺激が欲しいな”と思うならぜひ検討してみてください。この研修は思った以上に良いものです。